

議会市民懇談会報告書

平成28年6月14日

山陽小野田市議会議長 尾山信義 様

総務文教常任委員長 河野 朋子
一般会計予算決算常任委員長 伊藤 實

平成28年5月30日開催の議会市民懇談会の実施状況について下記のとおり報告いたします。

記

1 開催日時

平成28年 5月30日 (月) 19:00 ~ 20:45

2 開催場所

中村公会堂

3 申請団体等名称

正寺・東側自治会、埴生公共施設再編「意見交換会」参加有志

4 参加人数 (市民)

23 人

5 テーマ

埴生地区複合施設について

6 担当議員名

(河野朋子) (中島好人) (岡山 明) (河崎平男)
(笹木慶之) (伊藤 實) (小野 泰) (下瀬俊夫)
(松尾数則)

7 懇談会次第

- (1) 開会挨拶
- (2) 出席者紹介
- (3) テーマの趣旨説明
- (4) テーマの報告
- (5) 意見交換
- (6) 閉会挨拶

8 意見交換の主な内容

(市民) 津波への対応「南海トラフ」もある。

(議員) 水害や津波は事前に情報が入るが、地震が一番怖い。

(市民) 幼児から90歳まで日常的に交流が出来る拠点を作ってほしい。

学校の敷地内にあることは、教育の地域力、地域の活力につながる。

幼稚園の保護者から要望があった。災害と同じぐらい強い要望。

(議員) 厚陽小中連携校の検証ができていない。野球部がない。

駐車場にフェンスを付ける。民地を購入しても狭い。

(市民) 博多では、ビルの上に学校の建設がある。参考にしてほしい。

(市民) 合意形成で弁護士に聞いてみた。意見交換会で自由に話したほうが良いということだった。

(市民) 「議会だより」で埴生の将来さえ語れないと言ったのは誰で、文章の訂正はできないのか。

(議員) 討論の中で、賛成、反対の意見をそれぞれ載せた。

9人の「議会だより」編集委員で話し合っただけで決めた文章を変えることは出来ない。

(市民) いいものを作ってもらいたい。提案として[配置図]が配られ校舎前にグラウンドをもってきてテニスコートや駐車場の移動。

(議員) 議会全員一致での提案は難しい。市長が出すかどうかにかかっている。

(市民) 100%の合意はない、聞いていっても役に立たない。

お金の問題ではなく、将来の埴生を考えて一番いいものを作ってほしい。

フェンスは金物でなく緑で囲んではどうか。

青年の家は津波で問題がある。

50%以上の賛成があればよいのでは。

(市民) 災害とまちづくりは別。
埴生の中心地に建設してほしい。

(市民) 自分の意見が通らないので反対の人は途中から来なくなった。

(議員) 恫喝があったと聞いている。

(市民) 意見を出し合いながら決まった。

(市民) 意見交換会に出てきて、反対の意見をいえばよい。

(議員) 埴生漁港では、はじめて聞いた。2つの意見があった。

駐車場が狭いし、小中学校に迷惑をかけるという意見もあった。

(市民) 4年間の経緯を考えてほしい。埴生の住民の熱意を感じてほしい。

6月議会の提案は。

(議員) 厚狭の消防署建設の際、同じ場所を提案したので2回否決したことがある。

(市民) 議員は、知恵を出してほしい。

(議員) 場が違う議会（議員）は、市民の意見を聴いているこんな議会はない。

(市民) ありがたいと思っている。

(市民) 埴生地区には病院がない。救急車で小野田へは30分かかる。

診療所を作ってほしい。

(議員) 埴生消防署に人員を増やせと要望している。

市民病院の現状を報告

- ・患者が増えない
- ・医師30人の予定が25～26人
- ・急患のためではなく、入院患者中心
- ・委員会としては、開業医と懇談会を持ちたい。
- ・地元のニーズをつかんでいきたい。

(市民) 第3セクターでの建設はどうか。

(議員) 第3セクターでは儲けのみになってしまう。

市民病院は市民のためにあるので充実させたい。

(市民) 民間どうして連携して総合的な病院を作ってはどうか。

(市民) 本会議場での市長と執行部の声が聞こえない。市長は特に聞こえない。

(市民) 津布田地区は反対と思う。

(議員) 遠くなる人は、反対となる。

総合的に判断していかなければならない。